

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：深澤淳志

事業名 一般国道195号 <small>であいおとおと</small> 出合大戸バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 徳島県						
起終点 自：徳島県那賀郡那賀町出合 至：徳島県那賀郡那賀町大戸	延長 2.2km							
事業概要 一般国道195号は県南地域における東西幹線軸として、地域住民の生活を支え、災害時には緊急輸送道路としての役割を担う生命線道路である。出合大戸バイパスは、車両のすれ違いが困難なトンネル部等の幅員狭小を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした2車線道路である。								
H6年度事業化 ー		H7年度用地着手						
全体事業費 72億円		事業進捗率 76%						
計画交通量 2,200~2,900台/日		供用済延長 1.7km						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 15/81億円 (事業費:15/81億円 維持管理費:0.13/0.80億円)						
		総便益 (残事業)/(事業全体) 20/117億円 (走行時間短縮便益:19/99億円 走行経費減少便益:1.1/15億円 交通事故減少便益:0.00/2.1億円)						
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施								
交通量変動 : B/C=1.5 (交通量 +10%) B/C=1.3 (交通量 -10%) 事業費変動 : B/C=1.3 (事業費 +10%) B/C=1.5 (事業費 -10%) 事業期間変動 : B/C=1.3 (事業期間+10%) B/C=1.5 (事業期間 -10%)								
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消） ・災害への備え（「徳島県地域防災計画」において第2次緊急輸送路に位置付け） 他9項目に該当								
関係する地方公共団体等の意見 ・那賀町及び那賀町議会から早期整備を求める要望を受けている。								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成17年3月に市町村合併（鷲敷町、相生町、上那賀町、木沢村、木頭村）により那賀町が発足 ・平成16年の台風による災害被害をはじめ、沿線では落石事故や法面崩壊などが毎年発生								
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成20年度末の供用区間は全延長2.2kmのうち終点側約1.7km。 ・残事業は用地取得と橋梁を含む道路改良0.5km。								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・公図混乱及び価格問題から用地取得に遅れが生じている。 ・用地取得や工事促進に取り組み平成20年代半ばの供用を目指す。								
施設の構造や工法の変更等 ・斜面上に浮き石や転石が発見され法面对策工を追加している。 ・片栈道橋の形式を見直しコスト縮減を図っている。								
対応方針 事業継続								
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。								
事業概要図								
								
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: #cccccc;"></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: #808080;"></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>	凡 例			再評価箇所		うち供用中		
凡 例								
	再評価箇所							
	うち供用中							